



学校だより 令和6年10月1日 No. 316

柏崎市立柏崎小学校

柏崎市学校町1番88号

TEL0257-22-2196 FAX0257-24-0304

HP <http://www.kenet.ed.jp/hakushou/>

E-mail hakushou@kenet.ed.jp



「命の大切さ」

校長 池田 弘

9月3日、全校朝会で道徳の授業を行う「全校道徳」を実施しました。テーマは、命の大切さです。病気のために11歳で亡くなった宮越由貴奈さんの書いた「命」の詩をもとに、全校のみんなで考えました。

「命」

命はとても大切だ
でも、電池はいつか切れる
電池はすぐにとりかえられるけど
何年も何年も、月日がたってやっと
命がないと人間は生きられない
命をむだにする人もいる
そんな人を見ると悲しくなる
だから、私は命が疲れたと言うまで

人間が生きるための電池みたいだ
命もいつかはなくなる
命はそう簡単にはとりかえられない
神様から与えられるものだ
でも「命なんかいらない」と言っても
まだ、たくさん命がつかえるのに
命は休むことなく働いているのに
せいっぱい生きよう

教室に戻り、クラスでも話し合いを続けました。担任の問いかけに子どもたちは次のように答えました。

- 「命」という詩で、由貴奈さんが伝えたかったことは何でしょう。
 - ・もっと生きたい。命あるかぎり、頑張って生きたい。
 - ・命は電池のように取り換えがきかない。だから大切にしてほしい。
 - ・命はかけがえのないもの。むだにしないで。
 - ・自分の命も、人の命も、そまつにしちゃダメだ。
 - ・どんなに今つらくても、生きていたらきっといいことがある。
- 「せいっぱい生きる」とは、どうすることでしょう。
 - ・毎日学校に来て、毎日元気に過ごす。後悔しないように、毎日がんばる。
 - ・楽しいことやうれしくなることをたくさんする。
 - ・たとえ、つらいことがあっても、あきらめない。
 - ・一生懸命に、何事にも全力をつくす。難しいことにもチャレンジする。
 - ・人のためになることを進んでやる。困っている人、悲しんでいる人を助ける。
 - ・自分の命、みんなの命を大切にしていく。

子どもたち一人一人が、命の大切さについて真剣に考え、自分の意見を堂々と発表する姿に感動しました。柏小っ子は素晴らしい！

一つしかない限りある命を大切に、前向きに、精一杯生きてほしいと心から願います。



26日(土)の音楽会は、入場人数等に制限を設けません。
地域の皆様もぜひご来校ください。

2日(水)	創立記念日
4日(金)	中学校説明会(6年)
8日(火)～10日(木)	全校5限下校
11日(金)	前期終業式、給食後下校
15日(火)	後期始業式、給食後下校
16日(水)	第1回移行学級

17日(木)	愛校の日
22日(火)	もみじ弁当配り(6年)
25日(金)	子どもたちの音楽会
26日(土)	音楽会 時間:9:00～11:00 会場:柏崎小 体育館
28日(月)	振替休業日